

函館市の食品ロスの現状

令和4年度食品ロス実態調査

調査の結果、燃やせるごみのうち、生ごみが全体の約40%であり、この生ごみのうち、食品ロス（直接廃棄※）、食べ残しの割合が約24%でした。

※ 直接廃棄とは、購入後全く手が付けられずに捨てられたもの。未使用・未開封の食品。



令和3年度食品ロス削減モニター調査

調査の結果、食品ロスの発生原因としては、「品質の劣化」や「期限切れ」、「作りすぎ」など意識次第で食品ロスを防げるものが多くを占めました。

